

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

とし
歳を重ねること



帯広市長 米沢 則寿

9月の第3月曜日は、長寿を祝う「敬老の日」ですが、皆さんは歳を取ることをどう思われていますか。プラスに捉える人、マイナスに捉える人、さまざまだと思います。

中国の思想家・孔子は、歳を重ねるにつれて人が成長していくことを説いた言葉を残しています。40歳を「不惑」と表したことはよく知られていますが、さらに歳を重ねた60歳は「耳順」、70歳は「従心」と表現しました。「60歳で人の意見に素直に耳を傾けられるようになり、70歳で心のままに動いても人の道からはずれることがなくなつた」という意味のようです。

今、60を過ぎた私は「耳順」に当たる年代ですが、相手の話を虚心坦懐に聞き、話の背景や核心を正しく理解し、嘘やうわさ話は寛容に受け流す力を備えることが耳順ではないかと考えています。

「従心」で思い出すのは、大変個性的かつ大胆な生き方をされたかつて仕えた上司です。まるで、思いつくままに発言・行動されているように見えて、いつも正しく大きな成果を挙げられていました。今になって思えば、常に問題意識を持って、情熱を失わず新しいことに挑戦しておられたからこそ、従心の域に達していたのだと思います。

歳は年齢で区別するものではなく、未来で評価されるのが「若人」、現在で評価されるのが「大人」、過去で評価されるのが「老人」と教えていただいたことがあります。そして「還暦を超えたこれからも現在で評価される「大人」であり続けてほしい」と励ましていただきました。これまでの仕事で評価されようと思わず、いくつになっても未来につながる今、何かを創り続けなさいというメッセージを受け止めています。

生きることに関心や興味を持ち、やりたいことを見つけ、新しく始めるということを忘れてしまわなければ、年齢に関係なく前向きでいられるのだと思います。そして、いくつもの「やりたい」を実現しながら歳を重ねてきた人たちの生き方を、未来ある子どもたちに引き継いでいけたら、明るく元気なまちになっていくのではないのでしょうか。そんなまちになれば、まちも人も豊かに生き続けていけると感じます。

人生百年時代の「敬老の日」に、「子どもの日」「勤労感謝の日」も含め、それぞれの時代、世代の健やかを言祝ぎ、現在・過去・未来をつなぎながら、歳について考えてみませんか。

まちづくりにあなたの声を

市長への手紙をお寄せください

市民の皆さんの声を市の仕事に反映させ、市民協働のまちづくりを進めるために、この用紙を使って市政へのご意見・ご提言を、お寄せください。

回答を希望される場合は、必ず住所、氏名をご記入ください。匿名の場合は回答することができません。

文書で回答したものは、原則として、個人が特定できないように編集した上で広報紙やホームページなどに回答内容(要旨)を掲載します。お寄せいただいた内容の公開について、承諾いただけるかどうかをこの用紙のチェック欄でお知らせください。

なお、個人情報については帯広市個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。



問い合わせ

広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4110)

キリトリ線のりしろ

市長への手紙

ご意見・ご提言をお寄せください

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

回答が不要の場合は□に✓を記入してください <input type="checkbox"/> 回答はらない	ご意見と回答の要旨を、広報紙やホームページなどに掲載してよろしいですか <input type="checkbox"/> 掲載してよい* <input type="checkbox"/> 掲載してほしくない(□に✓を記入してください)
--	--

ご住所：〒 帯広市

お名前： 年齢： 歳 性別： 電話： ()

*掲載するのは文書で回答したものに限りです。また、ご意見と回答の要旨は、個人が特定できないように編集します。

キリトリ線のりしろ



市長に寄せられた 市民の声

まちづくりを生かす市民の声

市では、皆さんのご意見やご要望である「市民の声」をお聴きし、まちづくりへ反映するように努めています。

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4110）

平成30年度は、「市長への手紙」や「陳情・要望」などを通じて、都市建設部門や、商工観光部門、福祉部門や教育部門に多くの市民の声が寄せられました。（表1・2）

市長への手紙

昨年度、寄せられた意見と回答の一部をお知らせします。
内容は、意見が寄せられた時点のものです。

声①

グリーンパークでの市民による焼き肉で、芝が焦げたり、網や炭が放置されているので、焼き肉などを禁止するか、監視カメラを設置するなど、ゴミの放置を少なくするように、対策をしてほしい。

回答①

市では、グリーンパーク内での焼き肉を禁止しているほか、他の公園での焼き肉においても芝生を傷めないことや、ごみを持ち帰ることなどの周知啓発に努めているところ です。

しかしながら、公園内の芝生の焦げやごみの散乱など、一部利用者のマナー違反が後を絶たず、市民の憩いの場である公園の美化が損なわれている現状に、市でも頭

を悩ませているところです。

今後は、緑ヶ丘公園を含む焼き肉の利用が多い公園の巡回指導を強化するとともに、不適切な公園利用の写真を公開するなど、公園の適正利用について、市民の皆さまの理解を促進する取り組みを進めてまいります。

（担当） みどりの課、緑ヶ丘2、みどりと花のセンター内、☎21・3172）

声②

町内会への加入を促進してほしい。

回答②

町内会は、地域で生活する上でコミュニティの中心となる住民組織であり、災害発生時などにおい

表1 「市民の声」の受理方法別件数

受理方法	件数	比率
市長への手紙	382	39.8%
陳情・要望	504	52.5%
市長との懇談会 (地区懇談会・市民トーク・ ティーミーティング・ おじゃまします)	37	3.9%
その他(電話・Eメールなど)	37	3.9%
合計	960	100.0%

※比率は、小数点以下第2位で四捨五入し、端数調整はしていない

表2 担当部門別「市民の声」

担当部門	件数	比率	担当部門	件数	比率
政策推進	57	5.9%	農政	32	3.3%
総務	67	7.0%	都市建設	200	20.8%
市民活動	80	8.3%	教育	110	11.5%
市民環境	56	5.8%	消防	22	2.3%
保健福祉	110	11.5%	上下水道	8	0.8%
こども未来	55	5.7%	その他	18	1.9%
商工観光	145	15.1%	合計	960	100.0%

※比率は、小数点以下第2位で四捨五入し、端数調整はしていない

て身近なセーフティネットでもあると考えています。

高齢化の進行やライフスタイルの変化などを背景に、地域コミュニティが希薄化してきていますが、一方で、町内会や近隣の人と人とのつながりは、近年の自然災害の多発や、独居高齢者の増加などを背景に、ますます重要になるものと捉えています。

こうした中、帯広市では、平成30年度、町内会に加入するメリットを改めてアピールするため、加入促進に向けたチラシのリニューアルを行ったほか、町内会長や企業、市民団体などを対象とした地域実態調査を実施し、今後のコミュニティ活性化に向けた検討を進めています。

町内会活動の低下は、地域コミュニティの弱体化につながり、災害や防犯、子どもの見守りなどへの対応力の低下を招くことから、今後とも、町内会の重要性に関する周知・啓発はもとより、加入促進に向けた取り組みを進めたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
（担当） 市民活動推進課、市庁舎3階、☎65・4130）

080-8790



帯広市西5条南7丁目1番地
帯広市長行

●手紙用紙を紙面から切り離してお使いください

- ①キリトリセンに沿って 切り離し、手紙を書く
- ②二つ折りにし、のりしろ部分を貼り合わせて投函

